

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 公安委員長挨拶

「東京2020パラリンピックが終了した。テレビで観戦して、選手が躍動する姿に心を奪われた。日本選手も多数のメダルを獲得した。オリンピックとパラリンピックはともにコロナ禍での警備で大変だったと思うが、警察を始めボランティアなど裏方の支えがあったからこそ大会が開催できたと思う。本県から派遣された皆さんにも改めて感謝を申し上げる。最近の気象状況は異常にも思え、全国どこで大規模災害が発生してもおかしくない状況である。災害発生時にいち早く対応することを求められるのが警察、消防、行政であるが、通常の活動を維持しつつ対応することとなると思う。その状況を想定した人員体制を検討しておくことも必要だ。サイバーセキュリティも重要である。高齢者も子どももスマートフォンを持つ時代である。老若男女問わず、サイバー犯罪に対する防犯意識向上等を図ってほしい。」旨の発言があった。

警察本部

2 議題

公安委員会宛て苦情の申出

公安委員会宛て苦情の申出について説明があり、原案のとおり決定した。

警察本部

3 報告

(1) 令和3年度島根県警察通信指令競技会の開催

「令和3年9月10日、令和3年度島根県警察通信指令競技会を開催した。開催目的は、初動警察活動強化の一環として、通信指令を担う人材を育成するため、本競技を通じて、警察署通信指令担当者の通信指令技能・指揮能力の向上と現場警察官の無線通話技能の底上げを図ることである。出場チームは各警察署から1チーム2人で、競技の想定はコンビニ強盗事件とした。結果は、優勝が津和野警察署、準優勝が川本警察署、第3位が松江警察署であった。」旨の報告を受けた。

委員

[意見]「競技会の内容が実践的であり、参加した警察官の実力とモチベーションが高まり次に繋がると思う。」

委員

[意見]「実践を想定した訓練であり素晴らしい。」

委員

[意見]「日頃の訓練に加えて、基本を確認したり技能向上の良い機会になっていると思う。」

(2) 殺人未遂事件被疑者の逮捕

警察本部

「被疑者は、殺意をもって被害者の頭部をハンマーで数回殴打する等したが、全治4週間の見込みを要する頭部挫滅創等の傷害を負わせたにとどまり、殺害の目的を遂げなかったものである。令和3年9月2日、殺人未遂罪で緊急逮捕した。」旨の報告を受けた。

委員

〔意見〕「迅速な対応と早い逮捕で良かった。日頃の訓練の成果だと思う。次の犯罪が発生しないようにしてほしい。」

委員

〔意見〕「近隣トラブルはどこでも発生しがちである。被害者の方は重症だが犯人が逮捕されて、ほっとしていると思う。今後は同じような事件が発生しないように地域を守ってほしい。」

委員

〔意見〕「早い逮捕で住民も安心したと思う。近隣トラブル等の警察相談でも特に重大事案に発展しそうなものは、その都度適切な対応をとってほしい。」

警察本部

〔説明〕「被害者からは、これまでに相談を何回か受けており、相談の都度、助言やアドバイス、警らの強化等の対応をとってきた。今後も同じような事件が発生しないよう対策をとっていく。」

(3) 秋の全国交通安全運動の実施

警察本部

「9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動を実施する。運動重点は、子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保、夕暮れ時と夜間の交通事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上、自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底、飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶である。9月21日を県内一斉行動日、9月27日をシートベルト・チャイルドシート着用啓発の日、9月30日を交通事故死ゼロを目指す日と設定している。主な行事として9月17日、県庁本庁舎前駐車場において県と連携した警察車両の出発式、9月21日に大庭公民館、9月28日にマリングート島根において、あいおいニッセイ同和損保株式会社の製品テレマタグを活用したはつらつ運転診断コンテストの開始式、9月24日、お笑い芸人ネゴシックスを一日警察署長に委嘱し、道の駅あらエッサにおいて広報検問を実施するほか、赤江小学校において横断歩道の渡り方等の交通安全教室を実施、9月23日、三瓶山北の原の店舗駐車場において、バイク利用者に守ってほしい3つのBを内容としたチラシを交通安全グッズとともにバイク利用者に配布する3Bツーリング作戦を行う予定である。」旨の報告があった。

委員

〔意見〕「横断歩道の再塗装など、目に見える安全対策を行ってほし

委	員	い。」 〔意見〕「飲酒運転の取締りはもちろんだが、交通事故ゼロを目指してほしい。」
委	員	〔意見〕「安全運転の再認識の良い機会になると思う。チラシについてもインパクトのあるもので素晴らしい。警察署協議会に参加した際、ガソリンスタンドの経営者の方から店舗でのチラシ配布など広報啓発活動に協力したいという意見があり、心強く思った。」
警	察 本 部	<p>(4) 通学路における県下一斉集中交通指導取締りの実施結果</p> <p>「本年6月28日に千葉県で多数の小学生が死傷した交通事故の発生を受け、当県においても通学路を登校・下校する児童等の安全を確保するため、通学路における集中取締りを令和3年8月25日から9月1日まで実施した。重点対象は、児童、生徒の横断が多い交差点における交差点関連違反、通学路へ違法に侵入する通行禁止違反、通学路における実勢速度低下を目的とした最高速度違反、自転車の通行が多い通学路における普通自転車の違反である。検挙件数は登校時371件、下校時291件であった。期間中、可搬式速度違反自動取締装置を用いた取締りを行った。また、『ドライバーが取締りを目の当たりにすることで交通安全意識が高まる。』、『取締りをしてもらい助かる。』等の感謝の言葉があった。教育委員会と学校が主体となり、警察及び道路管理者が連携し通学路における合同点検を推進中である。」旨の報告があった。</p>
委	員	〔意見〕「登下校時の子どもたちをしっかりと守ってほしい。良い取組だと思う。」
委	員	〔意見〕「子どもたちを守る活動に感謝している。パトカーを見ると緊張して安全運転の意識が高まる。見せる活動も効果があると思う。」
委	員	〔意見〕「千葉県で発生したような大きな事故は、我が身を振り返る機会になる。警察でも集中取締りをされ心強く思う。また、速度が速いと大きな事故にも繋がりやすいので、速度取締りの重要性を感じている。」
警	察 本 部	<p>(6) 東京2020オリンピック競技大会に伴う警備特別派遣</p> <p>東京2020オリンピック競技大会に伴う警備特別派遣について報告があった。</p>
4	話題	初任科生の卒業状況
警	察 本 部	「初任科第169期生が、初任科の課程を修了し、浦郷警察署を除

く県内各警察署へ赴任する。卒業生の入校期間は令和3年4月1日から令和3年9月22日まで、卒業生数は24人、卒業時点の平均年齢は23.1歳である。卒業式は令和3年9月22日、警察学校体育館において挙行し、出席者は島根県知事、島根県議会議長、松江地方検察庁検事正、公安委員会委員長、本部長、各部長等である。新型コロナウイルス感染症対策として窓開放による常時換気、座席の間隔配置、出席者の検温実施及びマスク着用を徹底する。」旨の報告があった。

委員 [意見]「いよいよ新人警察官が現場に配属される。学校では警察官として基礎的なことを教育されたと思う。現場では一般常識的な教養をしっかりと行ってほしい。」

委員 [意見]「警察学校では色々な体験をされたと思う。赴任先では学んだことを発揮してほしい。」

委員 [意見]「厳しい規律の中で、色々な事を学ばれたと思う。今後は、現場の厳しい環境の中で警察官としての資質を磨いてほしい。」

5 総括

本部長 「私が本部長に着任してから3週間が経過した。着任前から決めていたことだが、在室時は可能な限り無線を聴取するように心がけている。本日報告した通信指令競技会は、制限時間の15分以内に事件の概要を聞き出し、どのように手配するかが最大の課題である。今大会の結果は生活安全部長から報告したとおりであるが、通信指令技能の向上は、刑事部長から説明があった殺人未遂事件被疑者の早期手配による早期検挙にもつながってくる。各警察署でこのような能力を育てていくよう努めてまいりたい。警備部長から東京2020オリンピック競技に伴う特別派遣について報告があったが、特別派遣制度は各都道府県が『お互い様』であり、何かあれば当県でも援助を受ける立場になる。派遣された者は派遣先で従事する業務のノウハウを吸収できる。特に災害警備に関しては、訓練をしてはいるものの、実践で身に付けたものは格別のものがあると感じている。県議会が始まっているが、各種行事も、昨年コロナの影響でできなかったものが順次再開、あるいは開始している。公安委員会各位にも御参加をお願い申し上げる。秋の全国交通安全運動がいよいよ始まる。私が着任して以来、残念ながら県内で2人の方が交通事故により亡くなられたが、この安全運動の機会に、年末まで成果が上がるものにしてまいりたいので、御指導を賜りたい。」旨の発言があった。

